

中小企業の経営者、人事・労務担当の皆さま

「健康経営」を始めましょう！



あなたの会社、こんな悩みありませんか？

従業員が疲れていて
社内に活気がない

従業員の平均年齢が
上がってきているなか
若い世代が育っていない

一度に複数の従業員が
病欠してしまい、
業務が回らなくなった

これらの悩みに「健康経営」でアプローチ！

✧「健康経営」とは？✧

従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。
従業員と一緒に健康の維持や増進に取り組むことで会社の活性化やイメージ、
業績を向上させていく取り組みです。

■印刷業 A 社

慢性的な人手不足によるコミュニケーションの悪化、若手社員の離職等の問題を抱えていたなか、事業継続のための取り組みとして健康経営をスタート！

産業カウンセラーを中心にメンタルヘルス不調者へのフォロー体制の整備、食生活改善に向けた朝食の提供や、自販機の低カロリー飲料への切り替え、運動不足解消に向けた週1回の運動プログラム（ラジオ体操、ヨガ等）の導入等の取り組みを実施。

従業員の体調が改善され、職員間の連携が密になったことで、**残業時間を年々減らす中でも業績を維持しています！**

■建設業 B 社

従業員の重度の病気発見や、体調不良を訴える従業員の長期休暇などをきっかけに健康経営をスタート！

協会けんぽの生活習慣病予防健診の費用を全額事業所が負担することで、**定期健康診断の受診率 100%** を達成。また、自治体の補助制度を活用して禁煙外来を集団受診し、**9割以上が禁煙に成功。**

従業員の健康意識が向上しただけでなく、会社の取り組みがメディアに取り上げられたことでイメージアップにつながり、**求人説明会の参加者も増加し、採用に繋がりました！**

「健康経営」を通じて経営課題の解決を！



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



健康経営、始めてみたいけどどうすればいい？

STEP 1 「健康宣言」を実施しよう

健康経営を経営理念の中に明文化し、企業として取り組む姿勢を社内外に発信する。

※中小規模事業者の方は、協会けんぽ等の医療保険者が実施する「健康宣言」事業に参加しましょう。

STEP 2 実施できる環境を整えよう

経営層全体で取り組みの必要性を共有したり、担当者・担当部署を設置するなど、取り組みやすい体制を作る。

STEP 3 具体的な対策をしよう

自社の健康課題を見つけ出し、目標を設定した上で施策を実行する。

STEP 4 取り組みを評価する

施策の効果を経営層を含めて確認し、現状の取り組みの評価を次の取り組みに生かしていく。

取組事例はこちら

健康経営ハンドブック

検索

あなたの会社の「健康経営」への取り組みを評価する制度ができました！

健康経営優良法人認定制度

健康経営優良法人認定制度とは、優良な健康経営を実践している企業等を「健康経営優良法人」として顕彰する制度です。経済産業省が制度を設計し、日本健康会議(※)が認定します。この認定を受けることで、以下のロゴマークを企業のPR等に使用できます。また、地域の金融機関の低金利融資や自治体の公共調達における加点等、各地域の優遇措置を受けられることがあります。



健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

(大規模法人部門)



健康経営優良法人
Health and productivity

(中小規模法人部門)

あなたの会社も、健康経営優良法人を目指してみませんか？



※日本健康会議とは、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、経済団体、医療団体、保険者などの民間組織や自治体が連携し、行政の支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体です。



詳しくはこちら

健康経営優良法人

検索

■問合せ先

経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課
TEL：03-3501-1790 FAX：03-3501-0315

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の商標登録です。